

例言

- 1 本書は、下記の事項について、第2部では文化的景観の概要を、第3部では第2部の概要を基にした保存計画を、それぞれ別府市教育委員会で策定した計画書である。
 - (1) 対象地区 別府市鉄輪地区並びに明礬地区
 - (2) 景観名 文化的景観 別府の湯けむり景観
 - (3) 計画名 文化的景観 別府の湯けむり景観保存計画

- 2 計画の策定については、市が定めた指針に従い、第2部では各担当の執筆者が、第3部は大分大学工学部建築・都市計画研究室に委託して原案を基に、別府市湯けむり景観保存管理検討委員会等で協議した。

- 3 本書では、計画策定の前段として対象地区の調査を下記のとおり行った。
 - (1) 対象地区の景観特性等の調査については大分大学工学部建築・都市計画研究室に委託して調査を行った。
 - (2) それ以外の調査報告については各分野の専門家に依頼をして行った。なお、第2部第2章第1節等、一部の概要報告については、『別府市誌』平成15年版より引用している。

- 4 本書の編集は、別府市教育委員会が行った。

- 5 本書に関する報告資料はすべて別府市教育庁生涯学習課で保存している。

序文

別府市には、西側の山林によって涵養された天水と、マグマなどによる地下熱の影響により、全国一の源泉数と湧出量を誇る温泉資源があります。地下の温泉資源が湯治、地獄蒸し、湯の花製造など、温泉水や噴気といった形で地元の生活や生業に利用された結果、多くの住民が生活する地上において、別府市を象徴すると呼び声の高い「湯けむり」を身近に目にすることができます。また、外来客に対しても、湯治に伴う宿の提供や、近代以降地獄めぐりに代表される総合観光産業など、温泉資源が多面的かつ最大限に活用されています。

近世までの別府は、自然噴出の温泉と「地獄」が点在する農村地帯でありましたが、近代以降は観光業の発達に伴い、上総掘りによって新たに掘られた温泉資源を観光の目玉にするなど、火山活動や地震などの自然災害の影響が大きい環境にあってもそれに適応し、本格的な温泉観光都市へと急激な変貌を遂げていき、現在に至ります。しかし、その変化の中にあっても、生活習慣の基盤として温泉利用を続け、また地獄蒸しなどに噴気を利用するという独自性が保たれ続けています。鉄輪地区並びに明礬地区は、別府市の中でも特にそれを代表すると言えるでしょう。

このように、別府市では温泉水が形成される自然活動に、温泉開発や配湯システムの構築など、人々の生活・生業活動が大きく関わった結果、自然と人間の「共同作品」ともいえる独特な文化的景観を形作ってきたと言えます。

文化的景観とは、「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことができないもの」と文化財保護法に定義されています。これまで重要文化的景観に選定されたものについては、第一次産業及び第二次産業により形成されたものが大半です。別府市の場合は、主に第三次産業による文化的景観ではありますが、日本における温泉観光産業を理解する上で重要な役割を果たすと考えられます。また、平成17年に景観行政団体となり、平成20年に「別府市景観計画」を施行するなど、文化的景観保存の体制が整うとともに、景観に対する意識が高まってきていることを受けて、今回重要文化的景観の申出に至るものであります。